

令和4年度 南砺市スポーツ推進審議会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和4年8月3日（水）午後3時00分～午後4時30分

2 場所

南砺市役所別館3階 大ホール

3 出席委員

- ・才川 昌一（会長）
- ・赤池 伸彦（副会長）
- ・永山 恵
- ・寺井 正次
- ・窪 辰夫
- ・北島 一朗
- ・棚田 賢也
- ・三田 義弘
- ・川合 留里
- ・廣原 弘子
- ・水戸 明美

4 欠席委員

- ・坂東 あすか

5 市教委出席者

- ・教育委員会 教育長 松本 謙一
- ・教育委員会 教育部長 村上 紀道
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・教育総務課主幹 金谷 諭
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・生涯学習スポーツ課長 鶴野 幸男
- ・生涯学習スポーツ課副主幹 南田 哲幸
- ・生涯学習スポーツ課主任 鶴山 大輔
- ・生涯学習スポーツ課主事 横山 由記
- ・生涯学習スポーツ課主任 山田 瑞樹

6 傍聴者

なし

7 審議会の要旨

1 開会

生涯学習スポーツ課長が開会を宣言した。

2 委員の任命

3 開会挨拶

（才川会長）

お忙しいところご出席を賜りました。前回の会議で会長になりました才川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

一昨年よりコロナ禍ということで、なかなか思ったようにスポーツの活動ができない状況なのかなと心配しておりましたが、高校総体や、全国中学校大会、小学校の全国大会に南砺市の子どもたちが出場されており、思うようにスポーツができないという制約の中ではありますが、それぞれ頑張ってくれているんだなと思っております。

今、教育委員会では中学校部活動の拠点校化や、今日の議題に上がっている受益者負担の適正化といったことをそれぞれ考えているということでもあります。皆さま

方から忌憚のないご意見をいただきながら、良い方向に向けて話していただく、そんな会にさせていただきたいとお願い申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(松本教育長)

本日はお忙しいなか、お集りいただき感謝申し上げます。

委員の皆さまには、コロナ禍ではありますが、いろんな工夫をしていただき、それぞれの立場で活動を展開していただいていることを厚く御礼申し上げます。

本日は、昨年度の事業報告や今年度の取り組みについての報告等をさせていただきます。

昨年度の審議会は本年2月に開催しましたが、その時期では次年度のスポーツ推進について、委員の皆さまからのご意見をすぐに反映することが難しいことから、本年は8月の開催とさせていただきました。

第2次南砺市スポーツ推進計画が令和2年度からスタートして3年目となりました。この間、コロナ禍において南砺市のスポーツを取り巻く環境が大きく変化しており、新たな課題も見えてきています。

また、中学校の部活動に関しまして、スポーツ庁から「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の提言がありました。児童生徒数の減少が加速化するなど、深刻な少子化が進行しており、部活動の持続可能性という面で厳しさを増しております。南砺市においても少子化のなかで、将来にわたり子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するために、中学校部活動の地域移行・拠点校化に向けて各関係団体と協議を行っているところです。

南砺市が本当に豊かに暮らしていけるようにするために、スポーツをしたり、文化や芸術それぞれなにか楽しみを持って、生きがいを持って生きていける、持続可能な南砺市を目指したいと思っております。

委員の皆さんの忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

規則により才川昌一会長が議長を務める。

4 議事事項

- (1) 令和3年度スポーツ関係事業報告について
事務局から説明した。
- (2) 令和4年度スポーツ関係事業報告について
事務局から説明した。
- (3) 第2次南砺市公共施設再編計画について
事務局から説明した。

(4) 常陸宮賜杯第73回中部日本スキー大会・第73回全国高等学校スキー大会の開催について

事務局から説明した。

(5) 南砺市スポーツ推進計画の進捗状況と課題について

事務局から説明した。

●質疑応答

○委員 夏休みが40日間ほどあるが、部活動が実施されるのは10日間ほどである。部活動が実施されない30日間に、子どもたちが運動するために各学校のグラウンドを使いたいと思っても、使えないのが現状である。子どもたちがグラウンドに来てキャッチボールをしていたら先生が出てきて「帰りなさい」と言われる光景も見られる。子どもたちが安心して運動できるような、安全な場所を確保してあげるべきだと思う。小中学校のグラウンドを個人でも使えるように開放していただけると嬉しい。

○事務局 委員の言われる通りである。体育館やグラウンドの学校開放に関しては、総合型スポーツクラブに管理をお願いしている。どのような開放の仕方が良いのか考えながら対応していくことが必要である。早急に考えていきたい。

○事務局 私が通る福光東部小学校のグラウンドでは、親子でよく遊んでおられるので、子どもたちが休みの日等に学校のグラウンドを使用できないという認識があまりなかったが、管理上の面からするとそういう部分もあるのかなと思う。私たちも状況をしっかり把握してないので、状況を確認した上で学校の先生方とも相談していきたい。

○委員 基本施策1において、小5女子の50m走タイム等の目標が達成されているが、この目標値の位置付けを教えてください。

また、スポーツクラブの加入率が毎年上がっているとのことで、コロナ禍で一気に加入率が下がったときから少しずつ上がっているということだと思う。今年度はスポーツクラブ新規加入者に向けて新予算を付けられたが、その実績等を教えてください。

○事務局 目標値については、南砺市スポーツ推進計画の令和6年度の目標値を基に設定している。後期計画の中で、全国の数値等も見ながら目標設定していくことになる。

スポーツクラブ入会促進事業を今年度から実施している。事業の内容としては新規会員及び再会員の会費の1/2を補助するものである。現在の実績は、7月いっぱいまで約900人の方がスポーツクラブの新規会員・再会員になられている。コロナ前と令和3年度の会員数の差を比べ

ると1, 100人ほどの差がある。1, 100人という目標にはまだ届いていない状況のため、スポーツクラブの方でもサマーキャンペーン等を実施していただいている。今後、入会促進にどういうことが効果的になるのかということを経営型スポーツクラブと検討しながら進めていきたい。

- 委員 目標値は、南砺市スポーツ推進計画に沿った1つの基盤を持っておられるということである。令和4年度に目標を達成したが、次年度は下がるかもしれない、年によって数値は違ってくるので、目標値は目標値として定めておいて、もし下がった時にどうするのかを考えていくということではないかなと推察をして話しを聞かせていただいた。年によって数値は違ってくるが、目標に向けて努力をしていく方向づくりをしていただきたい。

スポーツクラブ入会促進事業については、予算を新しく付けたが、それがあまり反映されていないのではないかとすることを改めて指摘させていただきたい。せっかく予算を付けたのに現会員が抜けた分を補填していることになれば、目的と予算付けとが一致しないことになるので、今後の推進に向けてどのようにしていくのか、告知が足りないのか等も含めて検討が必要だと思う。

- 委員 子どもたちのスポーツテストの結果について、50m走のタイムが、ここ20～30年で一向に速くなったことがない。南砺市はなぜ速くならないのか。

- 委員 小さい園児をお預かりしている保育園の立場であるが、幼児期において、体幹が弱い、転びやすい、姿勢保持がしにくいということがよくある。実際に、座るときも体がぐだ～となったり、足を投げ出したり、そわそわするような実態がある。しっかりと集中力をつけたり、なんと元気っ子教室でコーチの先生に教えてもらい、手や足の体幹づくりや、鉄棒、縄跳び、走る等をしている。教室は1回限りではあるが、その1回を参考に日々の遊びの中でいろんな体力づくりができるようにしている。次の小学校や中学校へと繋がっていく基礎となるように今後も頑張っていきたいと思っている。

- 事務局 50m走のタイムが速くならないとのことで、昨年度も少しお話をさせていただいたが、体力づくり委員会で各学校の先生が集まり、体力向上のための手引き等も作成しながら指導した結果、若干ではあるが小5女子のタイムが速くなっている。体力づくり委員会において、柔軟性を高めたり、スピードをつけたり等、その年の学年の状況を見ながら進めて

いただく。先ほど委員が言われように、なんと元気っ子教室は学年で年1回くらいしか実施されないため、今年度の11月か12月に富山大学の澤先生を講師に迎え、保育士を対象とした研修会等を開催したいと考えている。

○委員 スポーツテストの結果については、スポーツ少年団等の指導者にも公開して協力してもらう方法も検討されても良いと思う。

○事務局 以前は、福光地域ではスポーツ少年団の指導者と小学校の先生との懇談会でスポーツテストの話等も教えてもらったりしていた。子どもたちが少しでも足が速くなったり、ステップアップしていると実感できるような体制づくりが必要だと思う。スポーツ少年団等の指導者に協力をお願いすることも考えていきたい。

○委員 最初に、子どもが遊ぶ場所がないという話があったが、雨が降った時や冬場に、子どもたちが体を動かしたいなと思っても、体を動かせる場所が南砺市にはないなという話が前に出ていたこともあった。晴れていれば公園等に行って遊べば良いと思うが、雨の日はどこに行くのかなと思っていたが、児童館が南砺市それぞれの地域にあるので、そこで遊んだりしている。児童館については、土曜日は開館しているが日曜日は閉館している。日曜日でも開館してもらえたら、雨の日や冬場でも子どもたちの遊ぶ場所が確保できて良いと思う。

○事務局 児童館の日曜開館については、要望がたくさんあり、今年度から試行的に旧4つの町にある児童館をローテーションで月に1回ずつではあるが開館している。その利用状況を見ながら今後のことを考えていきたい。雨の日や冬場の子どもたちの遊ぶ場の提供は本当に大事なことで、児童館の開放もそういう役割を果たしていると思う。一方で、日曜日は家庭で親子で過ごしてほしいので、児童館を開放すると、保護者の方は子どもを児童館に行かせてしまい、親子の関わりが薄くなってしまわないかと心配をされる方もいる。両方の意見があるということも踏まえながら、今年度の試行の結果も参考にし、今後の児童館の日曜開館を検討していきたい。また、大きな予算がかかるので難しいとは思いますが、新たに、雨の日や冬場でも子どもたちが自由に遊べる場所を確保するといったことも考えていかなければならないと思う。

○委員 児童館の運営について、コロナ禍になり、児童館で走ったらだめ等と言われ、子どもたちが児童館に行きたがらない。運営を丸投げするのではなく、どういうふうに運営してほしいか、こんなふうな使い方をしてほしい等、市としての方針を皆さんにお話してあげたら良いのかなと思

う。

- 事務局 コロナ感染防止の観点から、そういったことを言っておられるのかなと思うが、状況を正しく把握していないため回答はできない。8月末に市の児童館運営委員会が開催されるので確認したいと思う。

(6) 中学校部活動改革について

事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 資料の最後の方に、「今回拠点校を設置しない場合も新たに提案しました。」とあるが、設置するのとしないのではどのように分けられるのか、種目によって設置しない場合があるということなのか。

- 事務局 現在、協会にアンケート調査等を実施している。その中で、学校に拠点を置くと選択される種目もあれば、学校に部活動を置かず、スポーツ少年団の枠の中で進められる種目も出てくることになる。

- 委員 拠点校を置かない種目の子どもたちは帰宅部のような形になるのか。

- 教育長 地域部活動を連続して行う部と午後4時45分で終わる部があり、そういう中に入ることになるか、クラブがある子はそれには入らずにすぐに帰って勉強して夜にクラブへ行くということになる。学校としては、クラブに入っている子どもの把握はして、その子がどういう行動をするのかという生徒指導的な面はきちんとやっていく必要がある。

- 委員 現在もクラブチームに入っている子たちは文化部に入る形になるのか。

- 教育長 現在南砺市では全員部活動制をやめ、例えば水泳をやっている子がいればそれを部活の代替として認めている。無理やり別の文化部に入っても力が入らないのに加え、勉強をする時間も無くなってしまうため、すぐに帰って勉強してもらおうという形を今も取っている。

(7) 受益者負担の適正化に係る協議について

事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 現在4つのスポーツクラブが一本化され、スポーツクラブと料金についての協議をしているとのことであるが、スポーツクラブの合意を得たとしても、市民の方に説明をしっかりとさせていただきたい。この受益者負担の料金改定については、市民の方が直接的に関わる場所でもあるので、市民の方との協議をしっかりとされることを希望したい。

- 事務局 委員の言われる通りである。スポーツクラブとは、まずは市民の方々がすぐに利用できる体制等の観点から話し合いをしている。ある程度ス

スポーツクラブとの話がまとまれば、当然市民の方やスポーツ団体の方々等のご理解を得ながら進めていきたいと思っている。

5 その他

令和4年富山県スポーツフェスタ 第75回富山県民体育大会総合成績について事務局から説明した。

6 閉会挨拶

(赤池副会長)

長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。いろんなご意見、ご提案をいただいたと思っております。少し前であれば、公共施設の再編計画や受益者負担の適正化がこういう場での話題だったと思うのですが、今は何といても中学校部活動の改革ではないかなと思っています。特認校から入り、それから拠点校化、地域移行と進めていかれるということでもあります。ついこの間もバドミントン協会の中で少し話をさせていただきましたが、少年団との絡みやスポーツクラブとの兼ね合いもあるということで、なかなか意見がまとまらず、うまくいかない部分もありました。そのようなこともあるので、いろんな競技団体の方や体育協会ともしっかりと意見を調整しながら進めていただきたいなと思っております。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

生涯学習スポーツ課長が閉会を宣言した。